

新型コロナウイルス教職員対応マニュアル

令和2年6月1日版

学校法人駒澤学園

こまざわ幼稚園

○ 保育室

- 出入り口は全て開けて常に換気をする。暑い日はエアコンも使用するが、換気を続ける。
- 椅子、机は個人シールを貼り、決まった物、場所を使う。使用後の椅子は重ねない。
- 机1台に子ども2人が席につく。並んで座る。
- 朝の会等で椅子のみを使う場合も、間隔を空けて並べる。置く場所に印をするのも良い。
- 絵本の読み聞かせなどは、集まって床に座ることは避け、席についた状態で行う。
- トイレに行くときなど「電車になって」の移動はしない。
- 様々な場面で見られる「手をつなぐ」行為は自然なものであれば受け入れる。
- 子どもの行動を把握するため、他クラスへの入室は当面の間控える。年少児の手伝いも積極的には進めない。但し、兄弟姉妹関係については弟妹が落ち着くようであれば入室も可。長時間にはならないように配慮する。
- 保育中も机の消毒はこまめに行う。洗面器に消毒液を入れ、常に用意しておく。
- うがいコップは水道には置かず、袋に入れた状態でタオル掛けにかける。その都度出して使用する。年少組については、おぼんに並べるなど子どもの様子で扱い方を決める。
- 手拭きタオルは間隔を空けてタオル掛けにかける。
- 保育室内の絵本は閲覧可。但し、子ども同士が密にならないよう配慮する。
- クラスでの共用粘土の使用は当面の間控える。
- 年中長児の共用色鉛筆、年少児の共用クレパスは使用可。
- 廃材制作は行って良いが、トイレトーパー芯の使用は当面の間控える。その他の素材については使用可ではあるが、制作後は必ずよく手を洗う。

○ 保育室内の水道の使い方

- 石鹸は使用せず、ポンプ式ハンドソープを使用する。
- 並んで待つ場所に印をつける。
- 共用の青コップは使用しない。

☆手洗い手順☆

- ①流水でよく洗う
- ②子どもがハンドソープのポンプを押す。よく洗い、流水で洗い流す。
- ③タオルで拭き、マスクをかけ、コップを持ち、再度水道へ。
- ④うがいをする。↳年少児はポケットに入れるなどで対応する。
- ⑤コップを袋に入れ、マスクをする。

○ ままごとコーナー

- 当面の間は使用しない。玄関ホールで遊ぶことも控える。

○ 絵本コーナー

- 当面の間は絵本貸し出しや閲覧は不可。

○ トイレ

- 密を避けるため、1F2F共にクラス毎に時間差をつけて使用する。
- トイレの出入り口に消毒マットを敷く。
- トイレの消毒はシルバーさんが時間で行うことにはなっているが、大便をした子どもがいたら便座、レバー共にすぐに消毒をする。
- トイレの共用水道は使用しない。

※ 外での活動後の「手洗いうがい」と「排泄」、どちらを先にするか？

⇒「手洗いうがい」の後に「排泄」へと促す。

○ 園庭

- 密を避けるため、園庭での外遊びも学年ごとに時間を分けて行う。
- 水道横の共用手洗いバケツは置かない。
- 外水道は原則としては使用しない。ケガをしたときに患部を洗い流すなどの場合は使用可。但し、保育者と一緒に使用する。
- 裸足での泥んこ遊びも可。体操服から泥んこ遊び服に着替えて行う。遊んだ後は園庭のホースからの水で手の砂を流し、保育室前の共用足たらいで足の砂を流し、個人用の雑巾で足を拭いて入室する。
- 着てきた体操服を汚してしまった場合は、持ってきている服（着替え用の私服）で降園しても可。

○ 水分補給

- 水筒を持参する。熱中症のリスクも出始める頃なので、活動の合間や外遊びの途中も水分補給を促す。すぐに飲むことができるように、外遊び中はすのこのところにカゴなどに入れて出しておくのも良い。

○ マスクについて（※気温・状況に応じて適宜判断）

- 登降園では必ずマスクをする。
- マスクには記名をしてもらう。
- 幼児はマスクの扱いが難しいところがあるのと、これからの暑さの問題もあるので外での活動では外してもよい。外したマスクはタオル掛けにかける。
- 外、保育室内共にマスクを落としてしまったときは、持ってきている予備マスクに替える。落としたものは園のビニール袋に入れて持ち返す。
- 学年に応じて園生活の中で、マスクの使用や咳エチケットについても触れていく。

○ 降園の仕方

- 学年ごとの時間差降園とする。 11：20～年少組 ※兄弟姉妹関係は弟妹のクラスで迎えを待つ。
11：30～年中組
11：40～年長組

- ・保護者は白門から入り、保育室まで迎えに来てもらう。りす側の門から帰る。
- ・年長組は玄関での降園となる。床に印をつけ、間隔を空けて並んで待つ。
- ・挨拶はシンプルにし、保護者に引き渡す。保護者への伝達は最低限（ケガや体調のことに留める）にし、必要に応じて電話する。
- ・当面、保護者は固定にさせていただく。できれば、都県をまたいで通勤している方の出入りはご遠慮いただく。

○ バス

- ・乗車時の換気、手の消毒は引き続き徹底する。
- ・バスの座席や手すりも各コースの間で添乗の職員が消毒（拭く）する。
- ・降園バスで、バス停に保護者がいなかった場合、子どもは園に連れて帰る。

○ 保育中に子どもの具合が悪くなったとき

- ・検温をし、熱があつたら保育室には戻さない。
- ・すぐに保護者（母）に連絡をし、速やかに迎えに来てもらう。

○ 掃除の仕方

- ・保育室は掃き掃除後、床、ロッカー、タオル掛け、棚、手すり、椅子、机、水道、ブロック、ままごと道具など子どもの手に触れるものは全て消毒液での拭き掃除をする。
- ・その他園舎内の共有スペースの掃除も、消毒液を使つての念入り掃除を心がけ、実践する。

○ その他

- ・欠席連絡の電話をとったときには、「手紙はお友だちに渡しますか？」は聞かない。保護者から「〇〇さんに渡してください」と言われた場合は受ける。
- ・玄関の「お迎えボード」は当面の間は出さない。保護者から聞かれた場合は個別に対応する。
- ・保育者から子どもへの過度な接触は避ける。消毒液は常に携帯し、状況に応じて使用する。
- ・基本は手洗い。感染防止に有効である。
- ・外部からの業者、訪問者には「検温・健康確認」をし、できる限り玄関外で距離をとり対応する。
- ・職員室内、子どもが入る場所と教職員の場所を区分けする。

- ・100年前に全世界で流行した「スペイン風邪」は終息するのに丸2年かかったといわれています。コロナウイルスも終息するにはまだまだ長い時間がかかると思われます。それまでの間は我慢すること、窮屈なこと、大変なこと、悩むことなどマイナスなことが多いです。でも、いつかは解放されます。園生活を楽しみにしている子どもたち、私たちの周りの大切な人、私たち自身を守るために、引き続き日頃の行動には十分気をつけていきましょう。

体調が悪いとき（同居の家族が体調不良の場合も）は正直に伝え、幼稚園を休んでください。

我慢は美德ではありません。